

平成24年第2回
組合議会定例会議事録

招集日 平成24年5月24日

招集場所 三鷹市議会協議会室

ふじみ衛生組合議会

平成24年第2回 組合議会定例会議事録

招集日 平成24年5月24日(木)

招集場所 三鷹市議会協議会室

1. 出席議員(10名)

1番 平野 充

2番 宮本 和実

3番 鮎川 有祐

4番 広瀬 美知子

5番 林 明裕

6番 緒方 一郎

7番 嶋崎 英治

8番 穴戸 治重

9番 石井 良司

10番 大城 美幸

2. 欠席議員(0名)

3. 出席説明員

| | | | |
|--------------------------|-----------|--------------------------|-----------|
| 管 理 者 | 清 原 慶 子 | 副 管 理 者 | 長 友 貴 樹 |
| 参 与 | 河 村 孝 | 参 与 | 小 林 一 三 |
| 総 務 主 幹 | 竹 内 富 士 夫 | 総 務 主 幹 | 長 岡 博 之 |
| 清 掃 主 幹 | 斎 藤 忠 慶 | 清 掃 主 幹 | 三 ッ 木 吉 和 |
| 人 事 主 幹 | 山 口 忠 嗣 | 文 書 主 幹 | 一 條 義 治 |
| 財 務 主 幹 | 土 屋 宏 | 契 約 ・ 検 査 主 幹 | 岡 本 弘 |
| 出 納 主 幹 会 計 管 理 者 | 前 田 真 紀 子 | | |
| 事 務 長 | 浜 三 昭 | 次 長 | 吉 野 弘 巳 |
| リ サ イ ク ル セ ン タ ー 長 | 澤 田 忍 | 新 施 設 建 設 準 備 室 長 | 荻 原 正 樹 |
| 新 施 設 建 設 準 備 室 副 主 幹 | 佐 藤 昌 一 | 新 施 設 建 設 推 進 担 当 参 事 | 田 中 實 |
| 新 施 設 建 設 推 進 担 当 参 事 | 深 井 恭 | | |

午前09時57分開会

○議長（林明裕君） おはようございます。定刻前ではございますけれども、全員皆様おそろいでございますので、これより平成24年第2回ふじみ衛生組合議会定例会を開会させていただきます。

直ちに、本日の会議を開きます。

日程第1 会期の決定

○議長（林明裕君） 日程第1、会期の決定を議題といたします。

ここで諮りいたします。会期は、本日1日といたしたいと思っております。これにご異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（林明裕君） ご異議なしと認めます。よって、会期は本日1日とすることに決定いたします。

日程第2 会議録署名議員の指名

○議長（林明裕君） 続きまして、日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第36条の規定により、1番平野充君及び6番緒方一郎君を指名いたします。

日程第3 管理者報告

○議長（林明裕君） 続きまして、日程第3、管理者報告に入ります。それでは管理者、お願いいたします。清原管理者。

○管理者（清原慶子君） 皆様、おはようございます。大変さわやかな季節を迎えています。厳しく寒い冬を経て、ようやく緑が豊かになりました。そういう季節ではありますが、議員の皆様におかれましては、両市の定例議会を控えまして、何かとお忙しい時期に、平成24年第2回ふじみ衛生組合議会定例会をお願い申し上げます。恐縮に存じます。

それでは、報告に入らせていただきます。本日も報告申し上げます事項は、5件でございます。

まず、ご報告の第1は、ふじみ衛生組合人事についてでございます。恐れ入ります。参考資料をごらんください。

三鷹市、調布市の3月31日付及び4月1日付人事異動に伴いまして、組合においても

人事異動を発令いたしましたので、ご報告をさせていただきます。

三鷹市の総務主幹が高畑智一さんから、竹内富士夫さんにかわりました。

調布市の清掃主幹が吉野弘巳さんから、三ツ木吉和さんにかわりました。

組合兼職職員の文書主幹が、馬男木賢一さんから、一條義治さんにかわりました。

ここで、議長のお許しをいただきまして、職員をご紹介申しますが、よろしいでしょうか。

○議長（林明裕君） はい、お願いいたします。

○管理者（清原慶子君） はい、それではお願いします。

○総務主幹（竹内富士夫君） おはようございます。ただいまご紹介をいただきました、総務主幹を拝命いたしました、三鷹市の生活環境部長の竹内です。どうぞよろしくお願いたします。

○清掃主幹（三ツ木吉和君） おはようございます。ただいま、ご紹介いただきました、清掃主幹調布市ごみ対策課長の三ツ木でございます。どうぞよろしくお願いたします。

○文書主幹（一條義治君） おはようございます。文書主幹を拝命いたしました、三鷹市政策法務課長の一線でございます。どうぞよろしくお願いたします。

○管理者（清原慶子君） ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

その他の人事異動につきましては、後ほど事務長から報告をいたさせます。どうぞよろしくお願いたします。

ご報告の第2件目は、新ごみ処理施設についてでございます。新ごみ処理施設整備について4点ほどご報告を申し上げます。

1点目は、新ごみ処理施設建設工事の進捗状況についてでございます。新ごみ処理施設の建設工事は順調に進行しておりまして、進捗率はおおむね69%でございます。

建物につきましては、3月中旬に躯体工事が完了いたしまして、外部では塗装や防水工事などの仕上げ工事に入りました。内部では天井内の配管配線工事、壁・天井の内装工事などを行っているところでございます。

また、プラント工事につきましては、大型機器の搬入が終わりまして、機器回りの配管や保温工事を行っているところでございます。

大型クレーンなどが解体搬出されまして、建物は最終的な形を確認できるようになりました。

これからも、まず何よりも工事の安全に引き続き心がけてまいります。

2点目は、新ごみ処理施設整備市民検討会についてでございます。市民検討会につきましては、3月9日に第31回の市民検討会を開催いたしました。現在は、環境学習機能についてのまとめの段階にきておりまして、次回は5月31日に開催を予定しております。

3点目は、地元協議会についてでございます。地元協議会につきましては、2月27日に第19回、3月29日に第20回、4月26日に第21回の地元協議会を開催いたしました。

現在は、引き続き環境保全や公害防止等に関する協定の策定に向けて協議をしているところでございます。次回は、5月28日に開催を予定しております。

4点目は、工事現場の見学会についてでございます。市民の皆様を対象といたしました第2回目の工事現場見学会につきましては、2月26日日曜日の午前、午後にそれぞれ開催いたしました。午前、午後合わせまして、181人の方にご参加をいただきました。

ご報告の第3件目は、リサイクルセンターについてでございます。私から、3月20日火曜日、春分の日午後4時20分ごろ、リサイクルセンターで作業終了後の点検中に起こりました委託事業従事職員の事故につきまして、ご報告をいたします。

当該職員が二次裁断機室内の振動コンベアのベルトを点検中に、左手親指の先を挟んでしまいまして、救急車で杏林大学医学部附属病院に搬送されました。

診断の結果、左手親指圧迫による裂傷で、すぐに縫合手術を行いました。おかげさまで3月24日土曜日に退院されまして、3月26日月曜日午後から職場に復帰をされております。

ふじみ衛生組合では、事故原因の調査を踏まえまして、再発防止に向けて取り組んでまいります。

ご報告の第4件目は、ごみ処理実績についてでございます。恐れ入りますが、資料の1をごらんください。

平成24年1月から3月までのごみ処理実績でございます。この3カ月間の総搬入量は約4,846トンでございまして、前年度と比較いたしますと、約128トン、2.7%の増となっております。

その内訳といたしましては、三鷹市が約2,486トンで構成比51.3%、前年度比約31トン、1.3%の増、調布市が約2,360トンで構成比48.7%、前年度比約97トン、4.3%の増となっております。

続きまして、資料の2をごらんください。

平成23年4月から平成24年3月までの平成23年度のごみ処理実績でございます。

この1年間の総搬入量は約1万9,697トンでございまして、前年度と比較いたしますと、約562トン、2.9%の増となっております。

その内訳といたしましては、三鷹市が約1万96トンで構成比51.3%、前年度比約327トン、3.4%の増、調布市が約9,601トンで構成比48.7%、前年度比約235トン、2.5%の増となっております。

なお、詳細につきましては、後ほど事務長より説明をいたさせます。

ご報告の第5件目は、都内の災害廃棄物受け入れ状況についてでございます。

東日本大震災に伴う宮城県女川町の災害廃棄物につきましては、平成24年3月から、東京都23区内の清掃工場で受け入れが始まっております。

なお、受け入れ状況等の詳細につきましては、事務長より説明をいたさせます。

私からの、報告は以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○議長（林明裕君） 浜事務長お願いします。

○事務長（浜三昭君） おはようございます。それでは、私から組合事務局職員の人事異動につきまして、ご紹介申し上げます。恐れ入ります、お手元の参考資料の人事異動の2枚目をごらんいただければと思います。

前内藤次長が定年退職され、その後任としまして、調布市から吉野弘巳さんが、ふじみ衛生組合理事次長事務取扱に就任いたしました。

○事務局・次長（吉野弘巳君） おはようございます。ただいま、ご紹介いただきました、次長の吉野でございます。よろしく願いいたします。

○事務長（浜三昭君） それから、新施設建設推進担当参事の田中實さん、深井恭さん、電気主任技術者として飯高秀男さん、ボイラー・タービン主任技術者として和田良英さんを引き続き非常勤特別職参事として、お願いしております。

また、再任用職員の新井豊主任を引き続き再任用しております。

組合職員の人事異動の報告については以上でございます。

続きまして、ごみ処理実績につきまして、補足させていただきます。恐れ入りますが、資料1のごみ処理実績の資料をごらんいただければと思います。

まず、平成24年1月から3月までの平成23年度第4四半期のごみ処理実績でございます。特徴点を申し上げますと、搬入実績の欄、上から4段目ペットボトルでございます。

三鷹市が約14.8%の増となっております。前年の同月比と比べまして14.8%の増、調布市が3.6%の増でございまして、合計が8.2%の増ということで、特に三鷹市のほうでは、一時震災発生後に、金町浄水場の関係等で、ペットボトル等の水が三鷹市のほうで特に増えまして、その名残といえますか、そういうものが残っていて、調布市に比べて、三鷹市のほうがペットボトルが多いという理由は、多分そのあたりにあるのではないかと考えております。

それから、搬出実績につきましては、記載のとおりでございます。

それから、右側の搬出（逆有償）でございます。記載のとおりでございます。

その下の段、残渣搬出につきましても、記載のとおりでございます。

第4四半期の総搬出量につきましては、4,730.97トンでございまして、搬出量としては2.6%の増となっております。

引き続きまして、資料2をごらんいただきたいと存じます。

資料2は平成23年度、1年間の年度間のごみ処理実績の速報値でございます。

特徴点を申し上げます。まず、上から2段目、不燃ごみの欄でございます。左側、三鷹市の欄10.5%の増となっております。こちらにつきましては、平成21年10月の三鷹市における有料化の影響で、平成22年度につきましても、少ない形で推移していたところですが、23年度はそれよりも若干増えているという形で、10.5%の伸びとなっているものと思われま。

なお、三鷹市の不燃ごみの推移でございますけれども、平成18年度は2,330トンでございましたので、そのころに比べれば比較的少ない数値となっております。

同じく、不燃ごみ、調布市の欄でございますが、4.4%の増となっております。不燃ごみにつきましてはトータルしまして、6.4%の増となっております。

それから、その下の次の4番ペットボトルでございます。先ほどの理由等によりまして、三鷹市では、8.5%のペットボトルの搬入量の伸びとなっております。調布市につきましても、1.7%ということで微増ということでございます。トータルで申し上げますと、先ほど管理者からもありましたように、1万9,697.18トンということで、トータル2.9%の増となっております。

なお、増加要因につきましては、人口の増ということも考えられると思います。平成18年度と比較いたしますと、ふじみに搬入されております、人口一人当たりで割り返しました1日当たりの量としますと、平成23年度実績が134グラム、これはあくまでふ

じみ衛生組合に入ったものですが、平成18年度につきましては、139グラムということで、5年前に比べると、少なくなっているということでございます。

それから、搬出実績でございます。左側、特徴点を申し上げます。14番の容リ・プラスチックAという欄があります。こちらにつきましては、容器包装リサイクル協会へプラスチックを出しているものですが、プラスチックA、Bと両方のラインがありましたけれども、Aのラインにつきましては、平成22年6月いっぱいまで停止となっておりますので、23年度がゼロとなっております。

右側、搬出でございます。逆有償につきましては、記載のとおりでございます。

残渣搬出につきましても、記載のとおり引き続き、年度間で埋め立てにつきましてもゼロという形を堅持しております。

焼却につきましては、三鷹市環境センターに可燃物を焼却しているものでございます。

総搬出量につきましては、1万9,459.91トンでございまして、1.8%の増となっております。

引き続きまして、本日席上に配付いたしました参考資料3点のうち、1点目の有償・無償物品の価格の推移の表をごらんいただきたいと思っております。

A4横の資料でございます。

こちらにつきましては、2月の議会以降の価格の動向につきまして、説明をさせていただきます。

まず、右から3列目の平成24年2月17日に携帯電話の搬出がございました。キログラム当たり680円、いわゆる有償で引き取っていただくことができました。前回の10月のときと価格は同じでございました。

引き続きまして、2月29日の一番下の2行ですが、非鉄金属の中の銅と真鍮につきましては、そこにありますようにトン当たり銅が65万1,100円、真鍮が44万6,100円でございます。いずれも前回の9月8日の売り払いのときよりも、おかげさまで値上がりをしております。

一番右の欄でございます。平成24年4月1日の有償の売り払いの入札結果でございます。上から4段目、独自処理・ペットボトルの欄で、上の段がペットボトルをそのまま丸のまま出したものでございまして、こちらについては、トン当たり5万400円、その下の段、ペットボトルを圧縮梱包して出したものについては、トン当たり6万9,300円ということで値がつけましたが、前回10月と比較いたしますと、ペットボトルについて

は若干値下がりをしております。

1つ行をあけて、6、7、8が鉄関係でございます。こちらの鉄関係、特A鉄というのは、飲料のスチール缶を固まりにしたものでございます。こちらについては、トン当たり2万8,455円、同じくA鉄、比較的良質な鉄を固まりにしたものでございます。こちらも、同額がついております。

それから、その下の段。B鉄といたしまして、粗大鉄、自転車のスポークだとかそういうものを固めたものについては、トン当たりでございますが、1万5,750円で、それぞれ特A鉄、A鉄は値上がり、B鉄が若干値下がりでおおむね、ほぼ同様か1月に比べれば若干特A鉄、A鉄が上がったという形で推移しております。

その下の2行につきましては、9行目、10行目でございますが、アルミでございます。9の特アルミにつきましては、飲料アルミ缶を固まりにしたものでございまして、トン当たり12万2,850円。

それから、その下の通常のアルミにつきましては、トン当たり7万9,800円でございます。

おかげさまでアルミにつきましては、前回の1月よりも値上がりしております。

私からは、この有価物については報告は以上でございます。

引き続きまして、都内の災害廃棄物の受け入れ状況について、本日席上に東京23区等の資料を配付させていただいておりますので、ご参照いただければと思います。

まず、宮城県女川町の災害廃棄物につきましてはの受け入れ状況でございますが、1行目にありますように、3月2日より受け入れを始めております。参考資料の1ページ目。まず、中央清掃工場で受け入れ。こちらは東京二十三区清掃一部事務組合の工場でございます。それから、3月後半が新江東清掃工場でございます。次をめぐっていただきますと、4月分の受け入れ計画でございます。こちらにつきましては、4月分についてはそこに記載のとおりそれぞれの工場での受け入れになっております。

引き続きまして、5月分、今月でございますが、そこに記載のと通りの受け入れという状況になっております。

それから、次、資料をめぐっていただきますと、既に受け入れております工場での災害廃棄物の放射能濃度等の測定結果の資料でございます。こちらについても、東京二十三区清掃一部事務組合のホームページより抜粋した資料でございます。

まず、一番最初に受け入れました中央清掃工場、3月2日から3月15日まで受け入れ

ということでございます。そこに記載のとおり放射能濃度の測定結果につきましては、特に上から2段目の飛灰のところをごらんください。いわゆるバグフィルター等の細かい灰でございます。その濃度の合計、一番右の列でございますが、894ベクレル/キログラムになっております。

国のほうの受け入れ、東京都も同様なんですけど、8,000ベクレル/キログラムという形になっておりますので、それに比べると、低い数字になっております。

なお、上の表の下の半分が排ガスの中での放射能濃度の測定結果でございますが、排ガスにつきましては、いずれも不検出、いわゆる検出下限値未満という形で出ております。

下の表につきましては、空間放射線量ということで、1段目が災害廃棄物搬入開始前になっておりまして、あとは焼却中ということで、そのような形で推移しております。

同様に次のページが、3月19日から3月31日まで受け入れました新江東清掃工場での結果表でございます。同様の形で上から2段目の飛灰については、放射性セシウム合計が2,166ベクレル/キログラムになっております。排ガス等についてはいずれも不検出、検出下限値未満でございます。

それから、その下が空間放射線量の測定結果でございます。

同様に、墨田清掃工場でございます。こちらについては4月2日から4月14日までの受け入れでございまして、4月9日の試料採取日で、セシウムの合計が1,750ベクレル/キログラムとなっております。排ガス等については不検出でございます。

空間放射線量については下の表のとおりでございます。

続きまして、港清掃工場。こちらについては、4月2日から4月14日までの受け入れでございまして、上から2段目の飛灰については1,094ベクレル/キログラムでございます。

なお、同様に排ガスについては、不検出で検出下限値未満でございました。

空間放射線量については、下の表のとおりでございます。

次のページでございますが、多摩地域の災害廃棄物受け入れに伴う住民説明会の日程等について記載させていただきました。

日野市でございますが、3月18日、西多摩衛生組合が4月1日と4月14日、柳泉園組合が4月5日、多摩ニュータウン環境組合が4月26日、多摩川衛生組合が5月11日、いずれも開催済みでございます。

7カ所のうち、あとの町田市、八王子市については記載のとおり予定しているというこ

とでございます。

なお、実際の災害廃棄物の受け入れる時期でございますけれども、最終処分場やエコセメント施設を有します東京たま広域資源循環組合及び地元日の出町との調整が終了してからとなる見込みでございます、具体的にいつからという形では決まっておりません。

災害廃棄物の説明については、以上でございます。

なお、本日もう1枚席上に配付させていただいております資料、武蔵野市からのごみ処理相互支援協定の締結のお願いについてという資料を説明させていただきます。

つい最近、5月15日にいただいたものでございますので、急遽席上配付とさせていただいておりますので、ご了解いただきたいと思っております。

こちらにつきましては、武蔵野市長から、ごみ処理相互支援協定の締結の依頼文書をいただいたところでございます。これは、現在、ふじみ衛生組合の組織市である三鷹市と、武蔵野市とで締結している相互支援の協定を、三鷹市の環境センターが閉鎖されるという形に伴いまして、平成25年度からは、これまでと同様の内容でふじみ衛生組合と締結したいという依頼文書でございます。本件につきましては、正副管理者で協議の上対応してまいります。

私からの報告は以上でございます。

○議長（林明裕君） ありがとうございます。管理者からの報告は以上でございます。ただいまの、管理者の報告につきまして質疑がある方は挙手をお願いいたします。

（「なし」の声あり）

○議長（林明裕君） よろしゅうございますか。鮎川議員。

○3番（鮎川有祐君） 1点確認なんです、災害廃棄物の受け入れ、23区の状況は、よくわかりました。ふじみ衛生組合といたしましても、前回の議会で国の第3次補正予算に伴う交付金を含む補正予算を可決したわけでございますけれども、当然、申し上げるまでもなくこの交付金につきましては、災害復興に資する施設に対する交付金ということがあります。

1点確認なんです、今後ふじみ衛生組合として、女川町の災害廃棄物を受け入れる、あるいは受け入れないといった最終判断を、最終的な意思決定をするに至るプロセスの中で、今現在どういう段階にあるのかをお聞かせいただきたいと思っております。

○議長（林明裕君） 長友副管理者。

○副管理者（長友貴樹君） お答えいたします。私は広域組合の副管理者も兼ねている

というところで、その観点から当然のことながら、先ほど事務長よりお話を申し上げましたように、多摩で全体を受け入れる前に、日の出町、それから広域組合、そして、地元、この3者で協定を締結する必要があります。これは、私どもの組合だけの話ではなくて、全体に係る話でございます。

その内容が、まだ確定はしておりません。今日、日の出町で全員協議会を開かれると聞いておりますけれども、しかし、今のご質問にかなり関係してまいりますので、その内容を少しご紹介したいと思っております。

これは、1つには期間の問題でございますけれども、結ぼうとしている協定の、まだ案の段階でございますけれども、24年度中、25年の3月31日までという期間設定がなされるのが1つのポイントでございます。

それから、量でございますけれども、残渣、焼却灰の段階で全体で6,000トンという数字が今のところ議論をされております。

ほかにもございますけれども、ポイントといたしましては、私どもの施設が稼働するのはご存じのとおり25年の4月を目途としておりますので、この協定が現在議論されているような内容で固まるということになりますと、女川からの受け入れに限って言いますと、私どもは対象にならない可能性が出てまいります。

それに関しては、今微妙な段階でございますし、今、私が申し上げている案が固まれば、その段階で速やかに皆様方にもご説明させていただくことになろうと思っておりますけれども、現状では、私どもが判断するしない以前に、そのような可能性が出てきているということをお知らせしたいと思います。

○3番（鮎川有祐君） はい、結構です。

○議長（林明裕君） はい。ほかにもございますか。平野議員。

○1番（平野充君） この地元協議会、私、申しわけない、出れておりませんが、この地元協議会では、今後、来年度ですね、本格稼働するときに、現在は東京都受け入れているのは女川町ですけれども、こういった安全性を確認した上で受け入れているこの流れについて、ふじみ衛生組合としては、どのようにするんですかとか、そういったお声は出ていると思うんですけれども、こういった内容がございましたでしょうか。

○議長（林明裕君） 浜事務長。

○事務長（浜三昭君） 地元協議会におきましても、災害廃棄物の受け入れにつきましては、東京都のスキームに準じまして、私どもとしても、受け入れる時期がくれば受け入

れていきたいというような内容でご説明はしているところでございます。

もちろん、地元協議会の皆様のご意見として、そういう場合には事前にいろいろな形で協議をしてほしいとか、また放射能のあり方についても、やはりご心配されておりますので、そのところは安全についてきちんと確保していただきたいということでございます。いずれにせよ、まだ私どものところに正式な話がきていない段階でございますので、当然そういう話がきた場合につきましては、そのときにきちんとご説明をして、そういうことでご理解をいただきながら進めていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（林明裕君） 平野議員。

○1番（平野充君） その説明をされるときに、ふじみ衛生組合には女川町のDVDもございますけれども、そういったものもごらんになっていただいて、説明はされておりますでしょうか。

○議長（林明裕君） 浜事務長。

○事務長（浜三昭君） DVDについては、まだ提示しておりません。説明したのがこの前の2月議会のすぐ後の地元協議会でございますので、そのときにはまだこちらのほうにはDVDがなかったものですから、その説明に当たっては2月の議会で説明させていただきました資料と同じもので、説明させていただいております。

○議長（林明裕君） 平野議員。

○1番（平野充君） 今後、つい先日もニュースでかなり石巻の方面のがれきを受け入れる反対運動、ニュースでやっておりましたけれども、今後もし受け入れていく方向が決定した場合に、ああいった騒動にならないためにも、日ごろから、現在東京が受け入れているがれきはこういう安全性を確保されていると、きちんとDVDも住民の方々に見せて、安全性は確保されているんだということを、自分のところが受け入れないにしても、その流れはいずれ来るわけですから、今のうちからそういった不信を取り払うためにも、そういったことは必要かと思えます。

私、今月、女川町のがれき選別処理場、自分の目で確認してきましたけれども、3段階にわたって放射線量もきちんと計測されております。

また、遮蔽のごみだけの放射線量も0.024マイクロシーベルトで低い数字が出てまして、可燃性の廃棄物を安全性を確保した上で、東京都が受け入れているということを確認してきておりますので、やはりDVDなども使って、ほんとうに目で見ながら、耳で

聞きながら、そのときを迎えるまでに安心できるような形をつくっていくことが大事だと思いますので、お願いしたいんですけども、どうでしょうか。

○議長（林明裕君） 浜事務長。

○事務長（浜三昭君） はい、今ご提案いただきましたので、私ども地元協議会の正副会長さん等と相談いたしまして、DVDにつきましても、そこでお見せできるような形で、相談させていただきたいと思います。

○議長（林明裕君） 平野議員。

○1番（平野充君） お願いします。現地、東北地方のがれきが10メートル以上積まれている、ずっと延々続いています、女川町も、そのがれきが置いてあるその土地は、もともとその地域の方がお住まいになられていた所有地というか、民有地というか、そこにがれきが積まれているので、そのがれきがなくなると、復興できないんです。そういう状況非常に目の当たりにして、ほんとうにかわいそうだなと思いましたので、もちろんさまざまがれきを受け入れるに当たってご意見等あると思いますけれども、きちんと安全性を提示すれば、わかっていただけるとと思いますので、お願いしたいと思います。

以上です。

○議長（林明裕君） ほかにございますか。よろしいですね。

以上で、質疑は打ち切ります。

以上5件は、報告のとおりご了承お願いしたいと思いますが、ご異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（林明裕君） ご異議なしと認め、管理者報告のご了承をお願いいたします。

日程第4 議案第5号 ふじみ衛生組合議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改定する条例の専決処分について

○議長（林明裕君） 日程第4、議案第5号、ふじみ衛生組合議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改定する条例の専決処分についてを議題といたします。

事務局に議案の朗読をさせます。

（事務局朗読）

○議長（林明裕君） 朗読は終わりました。

続いて、管理者から提案理由の説明を求めます。清原管理者お願いします。

○管理者（清原慶子君） 議案第5号、ふじみ衛生組合議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の専決処分につきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

当組合議会の議員、その他非常勤の職員の公務災害補償等につきましては、従来から、三鷹市に準じて実施してきたところでございますが、障害者自立支援法の一部改正に伴いまして、三鷹市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例が三鷹市議会におきまして、平成24年3月7日に可決され、平成24年4月1日から施行されました。

これに伴いまして、当組合議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する必要が生じましたが、議会を招集する時間的な余裕がないことから、地方自治法第292条において準用する同法179条第1項の規定に基づきまして、当該条例を平成24年3月16日付で専決処分いたしました。

改正の内容は、障害者自立支援法の一部改正に伴い規定を整備するものでございます。

以上、専決処分のご報告をいたします。

提案理由の説明は以上のとおりでございます。よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（林明裕君） ありがとうございます。

それでは、これより質疑に入ります。質疑のある方は挙手をお願いいたします。

（「なし」の声あり）

○議長（林明裕君） よろしいですか。

それでは、質疑もないようでございますので、これで質疑を打ち切ります。討論を省略して採決をしたいと思いますが、ご異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（林明裕君） ご異議なしと認め、これより採決をいたします。

議案第5号、ふじみ衛生組合議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の専決処分について、原案のとおり承認することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（林明裕君） ありがとうございます。満場一致と認めます。よって、本案は原

案のとおり承認をされました。

日程第5 議案第6号 平成24年度ふじみ衛生組合補正予算（第1号）

○議長（林明裕君） 続きまして、日程第5、議案第6号、平成24年度ふじみ衛生組合補正予算（第1号）についてを議題といたします。

事務局に議案の朗読をさせます。

（事務局朗読）

○議長（林明裕君） 朗読は終わりました。

続いて、管理者から提案理由の説明を求めます。清原管理者お願いします。

○管理者（清原慶子君） 議案第6号、平成24年度ふじみ衛生組合補正予算（第1号）につきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

補正予算（第1号）の概要でございますが、新ごみ処理施設が稼働することに伴い、新たに廃棄物情報管理システムを導入するため、債務負担行為の補正をお願いするものでございます。

なお、事務長から詳細の説明をいたさせますので、よろしく願いいたします。

提案理由の説明は以上のとおりでございます。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

○議長（林明裕君） 浜事務長お願いします。

○事務長（浜三昭君） それでは私から平成24年度ふじみ衛生組合補正予算（第1号）の詳細につきまして説明させていただきます。

恐れ入りますが、補正予算書案の4ページ、5ページをお開きいただきたいと思います。

今回の補正予算でございますけれども、新ごみ処理施設が稼働することに伴いまして、収集車両の情報管理や、ごみ処理手数料の収納管理などを行う、新しい廃棄物情報管理システムを導入し、それを使用するため平成25年度から平成32年度までの8年間で、1億3,400万円の限度額で債務負担行為をお願いするものでございます。

なお、同時にふじみ衛生組合のリサイクルセンターの現行システムとも統合いたしまして、一体的な情報管理を行えるようにするとともに、万一それぞれリサイクルセンター、新ごみ処理施設の一方の計量機が故障した場合でも、他の計量機で代行できるようリスクを分散できる総合的なシステムを構築していきたいと考えております。

なお、平成24年度には使用料の支払いは発生いたしませんので、今回の補正では平成24年度当初予算額の変更はございません。

私からの説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（林明裕君）　ありがとうございました。

それでは、これより質疑に入ります。質疑のある方は挙手をお願いいたします。

（「なし」の声あり）

○議長（林明裕君）　質疑はございませんか、それでは以上で質疑を打ち切り、討論を省略し採決をしたいと思いますが、ご異議はございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（林明裕君）　ご異議なしと認め、これより採決をいたします。

議案第6号、平成24年度ふじみ衛生組合補正予算（第1号）について、原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（林明裕君）　ありがとうございます。満場一致と認めます。よって、本案は原案のとおり可決をされました。

以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。これで会議を閉じたいと思います。

これにて、平成24年第2回ふじみ衛生組合議会定例会を閉会いたします。

本日はお疲れさまでした。

午前10時44分閉会

以上会議の顛末を書き、その相違ない
ことを証するためここに署名する。

平成24年5月24日

ふじみ衛生組合議会議長 林 明 裕

ふじみ衛生組合議員1番 平 野 充

ふじみ衛生組合議員6番 緒 方 一 郎